

9月議会
一般質問

下奥議員「若者が自信と希望で動ける愛知を」 愛知県「相談窓口や出前講座を一層充実」

全県の努力で復活した共産党県議団。12年ぶりに一般質問で下奥議員が本会議に登壇しました。冒頭、戦争法に対する知事の認識や全国最低水準の福祉・教育の改善を求めました。久しぶりの共産党の質問に、自民党席からざわめきやヤジが飛び交いました。

下奥議員が選挙戦でも県民に大きく訴えてきた若者の雇用について、「ブラック企業への県の認識」「非正規就労を是正するの県の助成」「労働基準法を学ぶ機会をすべての高校生に」「大学生に対する県独自の奨学金給付制度の創設」「ブラックバイトから身を守る県の対策」「啓発・推進の県の窓口の増設やリーフの増刷」等をこれまでに懇談した労働者や青年の実態や声を示しながら質問しました。

教育長や労政局長など県幹部は、「愛知労働局など国と連携しきめ細かい情報提供や相談をしていくことが必要。ブラックバイトで苦しむ学生を減らすためにも高校生に働くルールを知らせていくことが大切」「労働にかかわる出前講座を昨年は20校4100人に行ったが、一層強めたい」など、評価につながる姿勢も見受けられました。

再質問に立った下奥議員は、「労働教育の重視」「働くルール・リーフレットの積極的な活用」「奨学金返済支援・給付制度の早期設立」を特に強調しながら、「若者は真剣に仕事に向き合っています。若者から希望と未来を奪うのではなく、若者が自信と希望をもって働いていける愛知県めざし取り組むよう強く求めます」と要望し、質問を終えました。

(詳細は県議会ホームページを御覧ください)



本会議場上から質問する下奥議員

「戦争法、F35整備拠点に反対を」

下奥議員は冒頭、「愛知県には多くの自衛隊基地があり、戦争法や米国機を含むF35戦闘機の広域整備拠点の設置は大問題。知事の姿勢は」と問いました。

「安保法制はコメントのとおり」「F35整備は詳細な説明を求めていた」と担当部長の逃げの答弁に、下奥議員は再質問で、「『国民の理解が深まったとは到底思えない。憲法学者が憲法違反という事実は非常に重い』と知事は朝日新聞に述べている。その姿勢で臨んでほしい」と釘を刺しました。

「福祉・教育の低水準の改善を」

「愛知県の財政力はトップクラス、最低水準の福祉・教育に力を」と求めた下奥議員に対し、政策企画局長は、「リーマンショックで苦しかったが、それでも福祉関係予算は増額し、コロニーや県立病院の改修、特別支援学校の充実、少人数学級の実施・・・」と並べてました。

「35人以下学級」は、愛知県は「小1・小2・中1」ですが、長野県、静岡県や福井県は小中全学年で実施しています。自慢できる事業がやっぱりないのでしょうか。

愛知県議会 請願・陳情

請願・陳情名	要請団体名	代表者名	口頭陳述者	付託委員会	開催日時
介護保険給付の充実のため国へ意見書提出を求める請願書	介護の充実を求める会愛知連絡会	中村 亘	中村 亘	健康福祉委員会	10月2日Pm1
18歳年度末までの医療費無料制度実施を求める請願書	愛知県社会保障推進協議会	森谷 光夫 小松 氏子	小松民子	健康福祉委員会	10月2日Pm1
後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の恒久化を求める意見書を国に提出することを求める請願書	愛知県社会保障推進協議会	森谷 光夫 加藤 瑞美子	加藤瑞美子	健康福祉委員会	10月2日Pm1
消費税の増税に反対する意見書を求める請願	消費税をやめさせる愛知連絡会	太田 義郎	なし	総務県民委員会	10月6日Pm1
「平和安全法」廃止の意見書採択を求める請願	愛知県労働組合総連合	樽松 佐一	樽松佐一	総務県民委員会	10月6日Pm1
安保法制の廃止を求める意見書の提出を求める請願書	(安保法案に不安を持つママの会)	古谷 麻樹 上山章子 野宮 智恵子	古谷麻樹	総務県民委員会	10月6日Pm1